

釧路南ロータリークラブ会報

第 29 回 例 会 報 告 2008.2.15 通算 1240 回

・ 点 鐘 木内副会長

・ ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー 山本 美穂会員



・ 誕 生 祝

小野 一明会員 S4.2.18 (79 歳)



・ 会 長 挨 拶 木内副会長



- 1) 地区幹事代行選任の件。松浦昇地区幹事のご逝去に伴いまして、後任人事を急いでおりましたが、この度、駒形曙美地区副幹事を地区幹事代行として選任いたしましたので、前任者同様ご指導、ご鞭撻下さいます様宜しくお願い申し上げます。
- 2) 3月1日、IM、12:00よりアカデミーがありますので入会3年未満の方は出席してください。昼食も準備しています。

・ 幹 事 報 告

- * 釧路青年会議所より地区会員大会だよりを拝受しております。平成20年9月12日から北海道地区会員大会が釧路で開催されます。
- * 釧路湿原自然再生協議会よりシンポジウム開催のご案内がきております。
2月26日(火)14:00 釧路キャッスルホテルにて入場無料です
- * 理事会の開催は次週22日いたします。別途ご案内いたしますが、本日は職業奉仕委員会より、提案事項がありますので、理事の方は例会終了後残ってください。

・ 委員会報告

親睦委員会

- ・ 本日のニコニコ献金

小野 一明会員 誕生祝として

出席委員会

会員27名中15名出席 出席率55.5%

上期100%出席者 《表彰》



船戸会員、福井会員、清水会員、花田会員、長江会員、工藤会員、佐藤会員、木内会員、長倉会員

・本日のプログラム

「 RI創立記念日、世界理解月間 」

担当 国際奉仕委員会

●花田国際奉仕委員長



今月はロータリー創立記念日・世界理解月間ですので、そのあたりについて、国際奉仕委員長としてお話をさせていただきます。ロータリーの友2月号やその他の文献から引用をさせていただきました。今の時期、またロータリー創立100年が2年前でしたから、何度も聞いていることの繰り返しもありますが、聞いて下さい。ロータリーは1905年2月23日シカゴで生まれました。創立会員はポール・ハリス（36歳・弁護士）シルベスター・シール（石炭商）ガスター・ロー（鉱山技師）ハイラム・ジョレー（反物商）の4名であります。その後ハリー・ラグルス（印刷業）ウィリアム・ジェンス（不動産業）アル・ホワイト（オルガン製造業者）チャールズ・ニュートン（保険代理業）などが入会して、年末には30名近くの会員数になったと言われています。ポール・ハリスは最初から次のように述べています。「友情は利益をもたらすと同時に、楽しみをもたらす」「我々はお互いに取引をしなくても、毎週1回集まって会話を交わすだけで良い」そのように自分たちの商売と友情を第一としたのであります。また、なぜロータリークラブを作ったのかとの問いに対して「ただ、淋しくて友人が欲しかっただけである」と述べられたそうです。それ故、最初はブースタークラブ（互惠クラブ）と言い、一人一業種の発想も競争相手を拒否するという考え方だったのではないのでしょうか。ロータリーとは集会を各自の事務所を持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。それからは志を同じくするクラブが次々各地に生まれ、国境を越え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数32,744クラブ、会員数1,210,047人（2007年9月30日RI公式発表）に達しています。これらのクラブの連合体を国際ロータリーと称します。このように歴史的に見てもロータリーとは職業論理を重んずる実業人の集まりなのです、その組織が地球の隅々にまで拡大するに連れて、ロータリーは世界に目を開いて、幅広い活動を求められるようになり、現在は多方面に渡って多大の貢献をしています。MGはある国のRCが人道的プロジェクトを実施しようとしたとき、資金や専門知識

が不足している場合、海外に援助をもとめます。また他の国に尽くしたいRCや地区が貢献できる場を探します。このようなケースに役立つのがMGです。地区によっては世界社会奉仕（WCS）とMG同一の委員会が担当している場合もありますが、RCが他の国のRCを援助するのが世界社会奉仕であり、そのプロジェクトに補助金を申請しますとロータリー財団のプログラム、MGになります。MGの名称の通り2カ国以上にあるRCが協力し合い、それを補うのがMGです。

MGはロータリー財団最大のプログラムです。日本は国際親善奨学金を最重要視していますが、世界全体から見ると、2005～2006年度において国際親善奨学生プログラムに1480万ドル費やし、MGに3310万ドルを費やしています。そこでこれからマッチンググラントを計画するにあたり、第7分区ではこのように複数のクラブでの協同の事業としていければ、より多く皆様に国際奉仕活動への理解と体験をしていただけるだろうと、そして一緒に取り組んだ各クラブはもとより、会員同士もより深い結びつきが作られるのではないかと思います。地区WCS委員会に何か私たちが取り組めるMGはないだろうか和相談したところ、インドネシア3400地区との「スラウエシュ島における学童への植樹を通じて環境保全事業（Forest for Children）」を進められ、昨年10月にロータリー財団へ申請を行いました。ロータリー財団からMGの適任事業には合致しないと思われるので、申請書の事業内容を再検討するよう求められております。財団の考えとしてMGは人道的支援を優先として、水の問題、識字率の問題等が前にあって、植林についてはその後の管理等の問題があり、すぐ承認はできない旨の回答がありました。その時、財団への異議を申し立てるという手段もありましたが、提訴のようになり、数年の期間を要するとの見方が大きいので、この事業に対しては再度3400地区と2500地区で検討を行いましょうとなっております。来期は第7分区が足立ガバナーを輩出します、その年度に第7分区のクラブが協同でMGを行うということは意味あることと考えて、地区WCS委員会と話し合っ、今年度GSE事業の縁で繋がりが深くなったタイ3330地区とのMGを行いたいと、先日2月1日の分区の会長、幹事会に提案をさせていただきます。



・次回のプログラム

2月22日（金）

「職業紹介例会」

会場 釧路全日空ホテル

担当：職業奉仕委員会

・点

鐘

佐野会長

今週の会報担当：佐藤玄史会員